



## 1 2月のはなし

1 1月の中頃になって、急に寒くなってきました。子どもたちも朝は寒そうに登園してきます。でも、昼の暖かい日が注ぐころには、園庭で元気よく遊んでいます。

もうすぐ作品展です。今月は子どもの「表現」についてお話ししたいと思います。

「表現する」とは何でしょうか。赤ちゃんは「おなかがすいた」「ねむたい」などを泣いて知らせます。これは、自然に出る表現です。幼児期になってくると心が育ち、自分の意志によって外に出す表現がプラスされます。表現力が身に付いていくと、社会性、協調性、他人と行動を共にする能力が育っていきます。表現力は、自分が思ったこと・感じたことを相手に伝えるために、必要不可欠な能力と言えます。

その表現の一つとして、子どもたちは絵を描いたり、製作したりします。そして、表現したことを担任が理解し、共感することで、子どもたちは喜びやうれしさを感じます。そのことがさらに次へのチャレンジへとつながっていくのです。

子どもの絵の特徴です。

- 素朴さ …… 素直さ、愛らしさ
- 自由さ …… とらわれがなく、自由で大胆
- ユーモア …… 明るさ、個性的な発想、楽しさ
- 真実さ …… 鋭い直観、たくましい創造
- 美しさ …… 子どもの作り出す造形美

絵を見ながら、一人一人のこのようなところをくみ取っていただけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

園長 宇佐美すみれ